

記録
ビデオ
カラー／全52分
(バリアフリー字幕付)

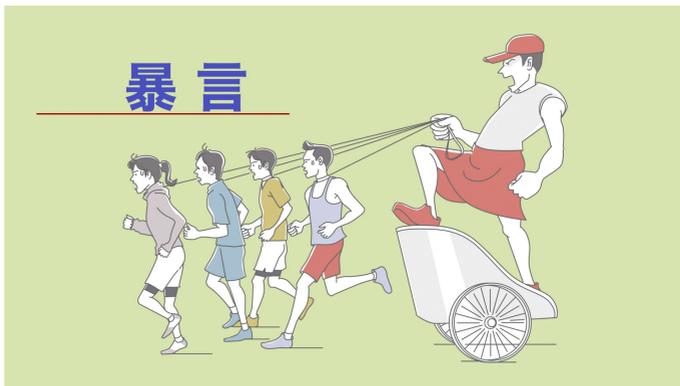
- 企画
(公財)日本スポーツ協会
- 監修・解説出演
高峰 修 (明治大学
政治経済学部教授)
合田雄治郎 (合田綜
合法律事務所弁護士)
ヨーコ・セッターラ
ンド (公益財団法人
日本スポーツ協会常
務理事)

スタッフ

- 製作
山田三枝子
- 脚本・演出
土井康一
- 撮影
今野聖輝
- イラスト
河村 誠
- CG
木下一志
- 制作デスク
高崎理香
- 編集
一澤 武
- 選曲
徳永由紀子
- バリアフリー字幕
山上庄子
- 動画変換
見目政巳
- 声の出演
芦澤亜希子
塚本誠浩
渋谷 慧

指導者、競技者、支援者等、より多くの人たちが、スポーツ現場におけるハラスメントの考え方や事例を通じた各行為の理解、ハラスメント防止のために取り組むこと等について専門家の解説も加えて紹介する。

日本スポーツ協会のホームページで公開されている。



ハラスメントがおきる背景には、勝利至上主義、集団主義、競技者と指導者との力関係など、スポーツの現場の特殊性がある。

『暴力』、『暴言』、『セクシュアルハラスメント』、『パワーハラスメント』、『差別的な対応』、『性的マイノリティを取り巻く問題』。それぞれのハラスメントがもたらす指導者、競技者双方にとってのデメリットを実例をもとにイラスト、アニメーションで再現し、ハラスメントが違法行為に当たる可能性や選手や指導者のキャリアや人生に大きく影響を及ぼす可能性を伝えていく。

スポーツ現場からハラスメントをなくすためにはどうすればよいか、本来スポーツは素晴らしいもので、スポーツの実態に目を向け、高い倫理性が求められることを伝える。